



山本数理短期専門家による研修修了式の様子（モンゴル日本センター）

SINRAI PROJECT

JICA 社会保険実施 能力強化プロジェクト

ニュースター第9号

2017年3月



★SINRAI PROJECT★SINRAI PROJECT★SINRAI PROJECT★SINRAI PROJECT★SINRAI PROJECT★

主な内容（次項）

日本からの短期専門家による数理 研修が行われました。



山本専門家の講義

1月30日～
2月10日の2
週間にわたり、
国立社会保
障・人口問題

研究所社会保

障基礎理論研究部第四
室室長である山本短期専門家による年金数理の
講義および実習が行われました。昨年12月に続
き、年金数理研修は2度目となります。また、労
働・社会保障省、医療・社会保険庁のみならず、
モンゴルの年金数理実務に重要な役割を果たす
国立労働・社会保障・人口問題研究所や国家
統計局からも研修生が参加しました。

研修は、山本専門家からの講義のほか、モンゴ
ル・日本人材開発センターのパソコンルームにおい
てモンゴルの年金財政や将来推計人口や年金の



PCルーム研修の様子

将来見通し
をモンゴルの
データをもと
にして作成
したほか、
保険料率



シミュレーションについて山本専
門家と話し合っているところ

の引き上げや支給
開始年齢を引き上

げた場合のシミュレーションを実際に行うなど、昨年
の研修よりもさらにレベルアップしたものとなりまし
た。その後、昨年12月にモンゴルで数理研修を
佐藤短期専門家、および山本短期専門家による
研修を受けた研修生11名が、25年後、50年
後のモンゴルの人口と年金の将来がどうなるのか、
Weekly Meetingにおいて、幹部をはじめ職員
に発表しました。モンゴルのデータに基づき、モンゴ
ルの方々自身で、将来を予測したはじめての発表
です。今後、正しい予測の下で、今、何をしなければ
いけないのか、科学的な政策立
案ができる
ようになること
を期待して
います。



自分たちで行った推計を發
表している様子



連載「草原の国の社会保障」

モンゴルにおける社会保険の実情や、本プロ
ジェクトを通して伝えたい事などを掲載いたしま
す。今回は、「高齢者の活躍」についてです。

（写真：Khuree Rotaract Clubでの講
演時の写真）

研修開発班・業務改善班の活動



医療・社会保険庁、各医療・社会保険事
務所の職員で構成している2班の活動につい
てです。（写真：ウィークリーミーティング研修
会での様子）

草原の国の社会保障（第9話） 「高齢者の活躍」

皆さま、こんにちは。

今回は、高齢者の活躍できる場所を増やす意義について、説明します。

65歳以上の男性の労働力率は、フランス（3.4%）、イタリア（6.5）、ドイツ（8.2）、イギリス（13.3）、アメリカ（23.0）に比べ韓国（42.1）、シンガポール（36.0）、そして日本（30.2）のように、欧米諸国よりも、アジア諸国の高齢男性が働いていることが分かります。特に、日本の高齢男性の労働力率について言えば、80歳以上、90歳以上の高齢者数が急増した影響により、相対的に65歳以上の労働力率が低下していますが、特定の年齢層だけを取り上げると、60歳代後半（52.5%）、70歳代前半（32.0）の労働力率は、以前として高水準です。

長年、家族みんなで農業をすることで生活を支えていたアジア諸国の感覚でいえば、特定の年齢になると、仕事をしなくなるということは考えにくいと思います。各国の経済発展の度合いというよりは、地域性・国民性といった文化面による影響が強いのでしょうか。そこで、高齢者が活躍するメリットについて、健康、経済、社会の側面から説明します。

まず、健康面。高齢者が活動することは、高齢者の健康に良い影響があります。高齢者が自ら動いて生活している場合と、誰かの世話を受けながら生活している場合とでは、前者の自立度合いが高いことが分かっています。

次に、経済的な側面です。高度な産業技術をもった高齢者が定年を機に引退してしまうと日本の

産業力が低下してしまいます。こうしたことを防ぐためにも、技術力を持った高齢者に継続して働いてもらうことで、若年者への技術移転を行っていく必要があります。

最後に社会的な側面として、年金の影響もお伝えします。年金とは、老齢や病気、障害によって世帯の収入が低下したことによる所得保障です。このため、65歳から75歳くらいの方が自ら働き、収入を得ることで、より豊かに暮らすことが可能となります。年金収入だけで暮らすよりも、年金と自らの貯蓄、そして、自ら働いて得た収入という三つの手段で暮らしていけると良いですね。

チーフアドバイザー 山下 護

モンゴルの若者を対象に社会保険セミナーを実施しています。

大学やロータリークラブなどを中心に、モンゴルの若者を対象に社会保険の意義について理解を深めてもらったり、モンゴルの将来を考えてもらったりすることを目的として、社会保険セミナーを実施しています。



Khuree Rotaract の皆さま

2月には Khuree Rotaract Club、Nairamdal Rotary Club、モンゴル文化教育大学を訪問させていただきました。講義では、モンゴルの将来の高齢化に備えるため、そして、すべての国民に健康保険を提供するために、国はどうすればよいのか、日本の事例を通して考えてみるという事に挑戦しています。熱心に参加をして下さった皆様、セミナー開催にご協力くださった皆様に感謝

を申し上げますとともに、社会保険について関心や正しい知識を持つ若者が更に増えることを期待しています。

Nairamdal Rotary Club の皆さま



文化教育大学での講義の様子



研修開発班・業務改善班の活動

当プロジェクトでは、医療・社会保険庁および各医療・社会保険事務所の職員で研修開発班・業務改善班を構成し、職員に向けた研修体系を充実させることや日々の業務の効率化を図るべく、それぞれ活動を行っています。ウィークリーミーティングでは、その2班から今後の今後の取り組み内容につき発表をしました。発表後は庁や各医療・社会事務所からの参加者と意見交換を行いました。



数理解修を終えて...

研修に参加したボディゲレル・医療・社会保険庁社会保険政策実施・調査局オフィサーからの感想です。

前回よりレベルアップした年金数理解修によって、年金保険基金の推計方法や年金保険基金に影響する要因にかかる分析など多くの事を学んだことをとても嬉しく思います。

また、私たちは自分たちで実際に推計を行い、その結果を発表しあひながら意見交換をおこなったため、さらに充実した研修となったと思います。今後、さらに多くの事を学びたいと思っています。モンゴルに来て、授業を行ってくださった佐藤専門家、山本専門家、そして素晴らしい研修を開催してくれたプロジェクトの皆さまに感謝申し上げます。



プロジェクト・オフィス住所・連絡先

住所：Khuulichid Street, Chingeltei District, Ulaanbaatar 15160, モンゴル社会保険庁内 6階 602号室
電話(FAX)番号：(+976)-11-325125



公式 Facebook アカウント：
Жайка Нийгмийн Даатгалын төс өл

ニュースレターのバックナンバーはこちらから

<http://www.jica.go.jp/project/mongolia/014/newsletter/index.html>

